

技術センターでは、利用者の皆さまを対象に、利用目的や満足度、ご希望などについて何う「利用者窓口アンケート」を実施いたしました。集計結果の概要をお知らせします。

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。今後の事業展開や業務改善に役立てていきます。

調査対象

令和元年11月25日から令和2年1月31日の間に「技術相談・依頼試験・機器貸付」のいずれかを利用された方

回答数 189件

調査結果(概要)

回答者の所属事業所を所在地別に見ると、京都市内86社、京都府内(京都市除く)は48社、京都府外は55社でした。(図1) 事業所の業種は、製造業が93%と最も多く、サービス業3%、卸売業・小売業3%、その他1%でした。製造業の内訳は、電気機械・電子部品が最も多く、化学・プラスチック・ゴム製品、汎用・生産用・業務用機械、鉄鋼・金属製品と続きました。



図1 所属事業所の所在地

今回利用の支援内容と満足度

機器貸付の利用が73%と最も多く、依頼試験16%、技術相談及び技術相談を含む機器貸付・依頼試験は合わせて9%でした。(図2)

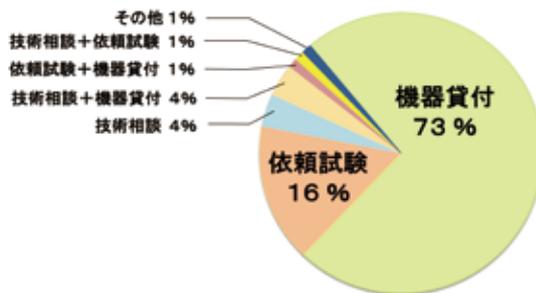


図2 ご利用いただいた支援内容

支援の満足度については、得られた成果91%、手続きの迅速性97%、接客対応98%、支援レベル94%と、いずれも高い評価をいただきました。課題解決の程度に対する満足度の評価は87%でした。(図3)

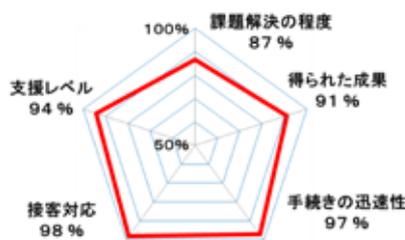


図3 ご利用の満足度

職員の良いと感じられたところを尋ねたところ、説明の分かりやすさについて81%、アドバイスの的確さ44%などとなりました。(図4)

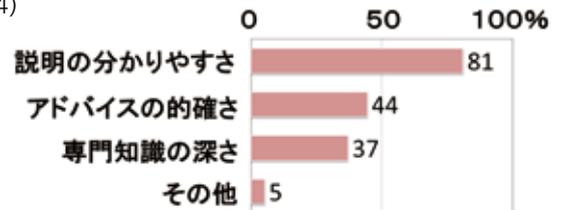


図4 職員のよいと感じられたところ

他の支援機関の利用

今回と同様の支援が必要な場合に利用される他機関を尋ねたところ、府外公設試の利用が37%と最も多く、京都市産業技術研究所26%、府外民間試験研究機関19%と続きました。府県を超えて公設試を利用されていることがうかがえます。(図5)



図5 利用される他機関

事業所所在地ごとでは、京都市内の企業は京都市産業技術研究所が最も多く、府内(京都市除く)の企業と府外の企業は、府外公設試が最も多くなりました。

ご意見・ご要望

当センターに強化・充実を求められることを尋ねたところ、機器利用が82人と最も多く、技術相談50人、試験分析44人、セミナー・講習会21人と続きました。(図6)

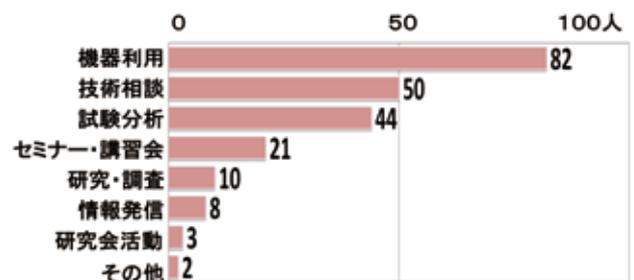


図6 強化・充実を求められること